



第二学期を終えるにあたって

いよいよ年の瀬を迎え、皆様には何かとお忙しい毎日をお過ごしのことと存じます。猛暑や台風を心配しながら始めた第二学期も本日をもって終了しました。



ふり返りますと、実りの二学期は、敬老会参加や大運動会で始まり、校内マラソン大会、PTA 主催の「友遊ふれあい広場」等多くの行事や教育活動がありました。日常の学習はもとより、数多くの行事を通して、子どもたちはそれぞれに個性を伸ばし、学力を身に付け、心身ともに一回り大きく成長することができました。

この学びや学校生活の様子が、本日持ち帰ります通知表に記されています。子どもたちは、どのような思いで通知表を手にしたのでしょうか。また、保護者の方々はどのような言葉を子どもたちにかけているのでしょうか。

一学期の保護者通信欄に「体を動かして遊ぶことが大好き。何事にも挑戦して欲しい。」「元気に通学できましたね。毎日の学習準備も進んでできました。すばらしい。」「得意なこと、苦手なことがあるようですが、長い目で見守り、伸ばしていきたい。」「自分なりのペースでよい。頑張っていて欲しい。」「毎日こつこつと取り組んでください。応援しています。」等、たくさんの方々に、子どもへの期待や励ましを寄せていただいています。

子どもたちは、毎日いろいろなことを見聞きし、感情を豊かに働かせ、大人とは比べものにならない密度の濃い日々を送っています。自分を受け入れてくれる大人が傍にいて、「がんばったね。」「すごいね。」「大丈夫だよ。」「応援しているよ。」「つらかったね。」等、認めてくれていること、励ましてくれていること、心配していることを、分かりやすい言葉や態度で感じさせることが大切です。

明日から冬休みに入ります。特に、年末年始は大変忙しい時期ですが、「子どもも家族や社会の一員であること」「耳を傾け、目を合わせること」「やろうと思ったことはすぐに行動すること」を大切にして、家庭や地域で過ごしてほしいと思います。

あとになりましたが、この一年、保護者の皆様をはじめ地域の方々の温かいご支援とご協力に心よりお礼を申しあげ、第二学期終了のご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。皆様、どうぞよいお年をお迎えください。

校長 藤原 佳弘
教職員 一同

